

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画（改定版）の策定		
予 算 額	5, 000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	共同参画社会推進部 男女共同参画推進課(222－3091)		
【事業実施に至る経過・背景など】 現行プラン（平成24年度～平成32年度）について、中間年度である平成28年度に計画の進捗状況及び社会情勢等の内容を踏まえた見直しを行い、「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画（改定版）を策定する。 見直しに当たっては、パブリックコメントの実施のほか、市民や事業者も交えた意見交換の場を設け、広く意見を聴取したうえで、計画内容を確定する。 【事業概要】 1 市民・事業者との意見交換会の実施 市民・事業者を交えた意見交換の場を設け、男女が共に能力を発揮できる労働環境の場を整備するための課題の共有等を行う。 2 パブリックコメントの実施 「真のワーク・ライフ・バランス」の推進に関する庁内会議や市民・事業者との意見交換会から出た意見等を踏まえ、改定案を策定し、パブリックコメントを実施する。 3 計画（改定版冊子）の作成 パブリックコメント等で聴取した意見を踏まえ、「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画（改定版）を策定する。改定版については、本冊や概要版を作成し、市役所本庁舎や区役所・支所、男女共同参画センター等での配布に加え、ホームページへの掲載等により広く周知を図る。 【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 市民や事業者がより一層「真のワーク・ライフ・バランス」の推進に取り組めるよう、意見交換会やパブリックコメントを実施し、市民や事業者のニーズや課題を反映した計画を策定する。特に、事業者においては、男女が共に能力を発揮できる労働環境整備に積極的に取り組んでもらい、「真のワーク・ライフ・バランス」を推進する企業の増加を目指す。			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	デートDV予防事業		
予 算 額	3,600千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	共同参画社会推進部 男女共同参画推進課（222－3091）		
【事業実施に至る経過・背景など】 近年、DV被害は配偶者からの暴力だけでなく、交際相手からの暴力である「デートDV」の被害が増加しており、悲惨な事件が頻発している。こうした状況から、平成26年1月に、被害者保護のための相談と保護、自立支援の手続等を定める「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（配偶者暴力防止法）」が改正された。この改正により、事実婚を含む配偶者や元配偶者からの暴力及びその被害者に限定されていた対象が、同居する交際相手又は同居していた元交際相手からの暴力及びその被害者まで拡大された。 また、内閣府が平成26年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」によると、交際相手がいた（いる）と答えた人の14.8％は交際相手からの暴力を受けた経験があり、うち20.5％が命の危険を感じていたことが分かった。 更には同居をしていない関係におけるデートDVは法律の適応が難しく、被害の潜在化や周囲が被害に気が付きにくいことが問題とされている。 このような状況から、交際相手からのDV被害を予防するため、中学生や高校生等の若年層に対して、DVに関する教育を行い、正しい知識を浸透させる必要がある。 【事業概要】 暴力を容認しない社会風土を醸成することを目的として、DVの被害者にも加害者にもならないための関係構築や相談を受けた時に正しく対応できるよう、中学生や高校生等の若年層を対象に、授業での使用を想定したDVDを制作し、京都市内の中学校、高等学校等と連携した啓発を実施する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	地域コミュニティ活性化推進事業の充実		
予 算 額	7,700千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	地域自治推進室 地域づくり推進担当（222－3049）		
【事業実施に至る経過・背景など】			
京都市では、「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」を平成24年4月1日に施行し、同5月に策定した「京都市地域コミュニティ活性化推進計画」に基づき、地域コミュニティの活性化に総合的に取り組んでいる。 自治会・町内会においても、様々な取組が進められているが、自治会推計加入率は平成24年度以降約70％と横ばいで推移していることから、地域コミュニティの活性化を更に推進するため、地域に対する支援策の充実を行うとともに、自治会・町内会の加入を促進する新たな取組を実施する。			
【事業概要】			
京都が誇る「地域力」を未来に引き継ぎ、地域住民が支え合い、安心して快適に暮らすことができる地域コミュニティを実現するため、学校・PTAをはじめ、企業、NPO等との連携強化や、地域自治組織の活性化に向けた新たな仕組みづくりの検討など、地域活動を支援する取組を強化する。			
（主な取組）			
・ 地域コミュニティの活性化に向けた新たな地域自治組織の検討 ・ 自治会・町内会と幼・保・小・中・高・総合支援学校（PTA、学校運営協議会）等との連携の推進 ・ 住宅関連事業者等と連携した自治会・町内会への加入促進 ・ 自治会・町内会への加入を促進するための「地域力アップキャンペーン月間（仮称）」の設定 等			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			
○ みんなでめざす10年後の姿			
1 だれもが気軽に参加できる居場所があり、安心して暮らすことができる 2 地域の課題に主体的に取り組める多様なコミュニティができている 3 自分たちの地域の課題を把握し、解決に取り組んでいる 4 地域コミュニティと行政とのパートナーシップが深化している 5 さまざまな分野の市民活動団体が地域コミュニティと連携して活動している			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	北部山間かがやき隊員（仮称）との協働による地域活性化の推進		
予 算 額	13, 000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	地域自治推進室 地域づくり推進担当(222－3049)		
【事業実施に至る経過・背景など】 京北地域をはじめとする北区，左京区，右京区にまたがる北部山間地域において，人口減少や高齢化の進行に歯止めを掛けるため，平成28年度から北部山間地域への移住促進に取り組む。 【事業概要】 「地域おこし協力隊」等の国の制度を活用して，都市部から北部山間地域に移住し，地域との協働により地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし活動や，農林水産業への従事，移住促進などの地域協力活動に取り組む「北部山間かがやき隊員（仮称）」を導入（公募）する。 【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 ○地域おこし協力隊とは おおむね1年以上3年以下の期間，地方自治体の委嘱を受け，地域で生活し，各種の地域おこし活動等を行う。平成26年度時点で444の自治体で1,511名の隊員が活動。 隊員のうち4割は女性で，約8割が20～30代の若者。任期（3年）終了後，約6割が定着。			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	北部山間地域への移住促進事業		
予 算 額	16,300千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	地域自治推進室 地域づくり推進担当(222－3049)		
[事業実施に至る経過・背景など] 京北地域をはじめ北区，左京区，右京区にまたがる北部山間地域においては，農林業の振興や農家民宿の開設支援等の地域活性化のほか，二ノ瀬バイパスなどのインフラ整備を進めてきたが，人口の減少や高齢化の進行には歯止めが掛かっておらず，更なる地域活性化が必要である。 このため，平成27年8月には「京都 京北未来かがやきビジョン」の策定，9月には「北部山間振興本部」の立ち上げなど，活性化に向けた取組を推進しており，平成28年度から北部山間地域への移住促進に向けて，移住希望者への滞在支援や受入れ活動を行う地域団体への移住助成制度を創設する。 [事業概要] 1 長期・中期滞在サポート 空き家を活用した，移住を検討している方に滞在してもらう住宅を整備する。 2 移住促進の取組を実施する地域団体への支援 移住を希望する人を対象として，地域案内や交流イベントなどの活動を実施するなど，受入れ活動を行う地域団体に対して助成する。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）] <京都への移住・定住の支援関連のその他の政策的新規充実予算枠> 総合企画局：「住むなら京都（みやこ）」移住サポートセンター（仮称）の開設・運営（10,000千円）			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	証明書のコンビニ交付の推進		
予 算 額	1,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	地域自治推進室 市民窓口企画担当(222－3085)		
【事業実施に至る経過・背景など】 各種証明書のコンビニ交付については、これまで交付に必要であった住民基本台帳カードの普及率が低調であったことや、戸籍のコンピュータ化が平成28年度まで完了しないことなどから実施していなかった。 本年1月からのマイナンバー制度の導入に伴い、希望者に無料で交付している個人番号カードには、コンビニ交付に必要な電子証明書が標準搭載されていることなどから、市民の利便性の向上に資する取組として、各種証明書のコンビニ交付を推進する。 【事業概要】 京都市では、住民基本台帳、税、国民健康保険、介護保険などの基幹系業務システムについては、30年近くにわたり大型汎用コンピュータにより運用してきた。 しかし、30年前の技術をベースとしたまま更新を繰り返してきたため、特定の事業者でなければ保守・運用ができず、最新技術を利用した行政サービスへの対応が困難となっていることなどから、これらの課題を解決するため、一般に広く利用されている技術による現行システムの刷新（オープン化）を総合企画局において行っている（平成29年度完了予定）。 そのため、各種証明書のコンビニ交付の導入に際して、現行システムへの二重投資を回避するとともに、オープン化のメリットを活かし、競争性が働く環境で最も効果的・効率的なシステム改修を図る手法等を検討する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動		
予 算 額	121,900千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	くらし安全推進部 くらし安全推進課(222－3193)		
【事業実施に至る経過・背景など】 市民生活の一層の安心安全の実現とともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の開催も見据えた観光旅行者等の安心安全の向上を目指し、京都市と京都府警察が平成26年7月に締結した「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」の協定に基づき、「誰もが安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれるおもてなしのまちづくり」の取組を進めている。 【事業概要】 京都市と府警本部や区役所・支所と警察署が相互に連携し、地域との協働の下、取り組む共通の視点や取組の指針となる事項を示した「全市版運動プログラム」に基づき、地域の特性や課題に応じた安心安全の向上のための取組を実施する。 各行政区においては、市民、区役所・支所、警察署等からなる区推進組織を設置するとともに、具体的な取組計画となる「区版運動プログラム」を策定し、京都市が誇る「地域力」、「人間力」を最大限に活かした取組を推進する。 平成27年度は、右京区と伏見区の2区が先行実施行政区として取組を進めているが、平成28年度は、先行実施行政区の取組等も踏まえ、全行政区において取組を開始し、<u>本運動の取組をより一層推進していく。</u> ○ 市民ぐるみ推進運動支援事業（各区で取り組む事業） 地域の特性や課題に応じて区役所が裁量を持って、地域防犯活動や防犯環境整備事業（「京都市防犯カメラ設置促進補助事業（地域団体向け）」を含む）などの市民ぐるみ推進運動を支援する。 ○ 全市事業（全市的に取り組む事業） 「京都市防犯カメラ設置促進補助事業（事業者等向け）」など、事業趣旨・効果等を鑑みて、全市的に取り組む必要のある事業を推進する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 平成27年中の京都市域における刑法犯認知件数は、15,934件と前年比3,212件、16.8%減少（暫定値）			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	「京都文化芸術プログラム 2020」の推進																				
予 算 額	202, 700千円	新規・継続の別	継続																		
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠																		
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033)																				
【事業実施に至る経過・背景など】 東京オリンピック・パラリンピック等の開催により，世界から日本への関心が高まることを契機として，日本文化の真髄である京都の文化芸術を担う次の世代を育成するとともに，その魅力を国内外へ発信していくなど，２０２０年に向けて強力的に推進すべき事業を取りまとめた「京都文化芸術プログラム２０２０」を平成２７年２月に策定した。プログラムに掲げる事業を展開することにより，“文化芸術によるまちづくり”を一層進めていく。 【事業概要】 世界的な文化芸術都市・京都の創生を目指して，プログラムにおける３つの方針「次の世代の担い手育成」，“今に息付く文化を守り，活かし，創造する”，「京都の魅力発信」の下，国等とも連携し，京都の文化力を発信するイベント等を開催する。 ２０２０年に向けての取組を一過性のものとして終わらせず，未来に残す遺産として後世へ継ぐことができるよう着実にプログラムを推進する。																					
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 平成２８年度政策的新規充実予算枠で計上している以下の事業等が，プログラムを牽引する重要事業に掲げられている。 <table><tr><td>・京都文化芸術プログラム２０２０を牽引する重要事業</td><td>１８，７００千円</td></tr><tr><td colspan="2">（・学校教育をはじめ，あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組）</td></tr><tr><td colspan="2">（・京都・和の文化体験の日</td></tr><tr><td colspan="2">・アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業</td></tr><tr><td>・スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの開催</td><td>３２，０００千円</td></tr><tr><td>・京都文化フェア（仮称）２０１６－２０２０の実施</td><td>１４，０００千円</td></tr><tr><td>・大政奉還１５０周年記念プロジェクト（仮称）の実施</td><td>１３，０００千円</td></tr><tr><td>・東アジア文化都市２０１７の実施</td><td>１１０，０００千円</td></tr><tr><td>・伊藤若冲生誕３００年記念事業</td><td>１５，０００千円</td></tr></table>				・京都文化芸術プログラム２０２０を牽引する重要事業	１８，７００千円	（・学校教育をはじめ，あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組）		（・京都・和の文化体験の日		・アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業		・スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの開催	３２，０００千円	・京都文化フェア（仮称）２０１６－２０２０の実施	１４，０００千円	・大政奉還１５０周年記念プロジェクト（仮称）の実施	１３，０００千円	・東アジア文化都市２０１７の実施	１１０，０００千円	・伊藤若冲生誕３００年記念事業	１５，０００千円
・京都文化芸術プログラム２０２０を牽引する重要事業	１８，７００千円																				
（・学校教育をはじめ，あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組）																					
（・京都・和の文化体験の日																					
・アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業																					
・スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの開催	３２，０００千円																				
・京都文化フェア（仮称）２０１６－２０２０の実施	１４，０００千円																				
・大政奉還１５０周年記念プロジェクト（仮称）の実施	１３，０００千円																				
・東アジア文化都市２０１７の実施	１１０，０００千円																				
・伊藤若冲生誕３００年記念事業	１５，０００千円																				

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの開催		
予 算 額	32, 000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成32年（2020年）に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け、オリンピック・ムーブメントを高めるためのキックオフイベントとして、スポーツや文化による国際貢献等について議論・情報発信するフォーラムが開催される。 （京都市：平成28年10月19日～20日，東京都：同月20日～22日） 日本政府が主催し，京都会場は京都市・京都府・京都商工会議所が協力して開催する。 同フォーラムは平成32年までの4年間に実施する国の文化プログラムのキックオフ事業に位置付けられている。 【事業概要】 本フォーラムの開催により，文化芸術都市・京都の魅力を世界に向けて発信・アピールするとともに，以下のイベントを開催する。 1 オープニング及び全体会 ロームシアター京都をメイン会場とし，演奏パフォーマンスや著名人による基調講演，京都宣言（仮称）等を行う。 2 分科会等 市内各所で分科会等を開催するとともに，世界への発信力を有する外国人等を対象として，京都文化体験プログラムを提供する。 3 文化イベント 二条城を活用し，洋楽と伝統音楽とのコラボレーションイベント等を行う。 4 ワークショップ 京都市の独自事業として，京都の文化芸術団体と連携し，外国人と共に市民が気軽に和の文化に触れ，楽しむことのできるワークショップを開催する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 ○予算内訳 負 担 金：30, 000千円（府も同額） 市独自事業： 2, 000千円			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都文化フェア(仮称)2016－2020の実施		
予 算 額	14, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033)		
【事業実施に至る経過・背景など】 京都ゆかりの文化人による呼び掛けにより，平成32年（2020年）の東京オリンピック・パラリンピック等の開催に合わせて，オール京都で文化の祭典を開催するため，京都市，京都府，京都商工会議所等で構成する推進委員会を組織し，京都文化フェア（仮称）の基本構想の策定等に取り組んでいる。 本年3月に基本構想を策定した後，平成28年度は実行委員会を組織し，実施計画を策定する。 【事業概要】 実行委員会において実施計画の策定を進めるとともに，以下の事業を実施し，2020年に向けて，京都のまち全体で気運の醸成を図っていく。 ○市民やNPO，文化芸術団体等が行う文化芸術に関する取組への支援 ○寺院・神社等で制作・発表活動を促す文化講座，ワークショップの開催 ○シンポジウムの開催（平成29年3月予定） ○機関誌の発行，イメージビジュアルの公募 等			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	大政奉還 1 5 0 周年記念プロジェクト（仮称）の実施		
予 算 額	13, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033) 歴史資料館(241－4011)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成29年（2017年）は、二条城において、徳川慶喜が朝廷への政権返上を表明した慶応3年（1867年）の「大政奉還」から150年を迎える。 この機を捉え、京都市をはじめ幕末・維新に京都で活躍した先人たちのゆかりとする都市が相互に連携・交流を図りながら、以下を目的とした記念事業を実施する。 ① 幕末、京都で活躍した先人たちの歩みを、近年の研究成果を踏まえ、再評価 ② 幕末・維新をテーマとした文化・観光等の振興 ③ ①、②を通じた「都市間連携による地方創生」の先導モデルの構築 【事業概要】 1 大政奉還150周年記念プロジェクト事業（継続） 大政奉還150周年となる平成29年に様々な事業を実施するため、平成28年度は、京都市実行委員会（仮称）を設立のうえ、準備を進めるとともに、本事業を周知するためのプレ事業を実施する。平成29年1月には、オープニング事業（記念シンポジウム）を開催するとともに、関係都市との連携事業も行う。 2 「岩倉具視関係資料」修復事業（新規） 平成25年度に本市へ寄贈された「岩倉具視関係資料」のうち、市指定文化財の「携帯用火縄短筒」と未指定の「岩倉具視一代絵巻」の修復を行い、平成29年度に開催予定の岩倉具視特別展において公開する。 【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	東アジア文化都市2017の実施		
予 算 額	110,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日中韓3箇国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、様々な文化芸術イベント等を通じて、東アジア域内の相互理解と連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力を高めることを目指している。 また、事業の実施を契機として、開催都市がその文化的特徴を活かして、文化芸術、産業、観光の振興を推進することにより、継続的に発展することも目的としている。 この事業は平成26年（2014年）から開始され、京都市は平成29年（2017年）の日本の開催都市として決定している。			
[事業概要]			
1 プレ事業			
東アジア文化都市の開催を広く周知するためのプレ事業を開催する。			
2 オープニング事業			
平成29年2月にロームシアター京都でオープニング事業を開催する。			
・開会式典			
・日中韓の各開催都市の文化芸術を紹介する公演			
・伝統芸能、音楽、食文化など京都の様々な文化芸術を発信するイベントの開催			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			
○ 開催都市一覧			
開催年	日本	中国	韓国
2014(平成26年)	横浜市	泉州市	光州広域市
2015(平成27年)	新潟市	青島市	清州市
2016(平成28年)	奈良市	寧波市	済州特別自治道
2017(平成29年)	京都市	未定	未定

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	伊藤若冲生誕300年記念事業		
予 算 額	15, 000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033) 美術館総務課(771－4107)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成28年は、江戸時代に京都・錦市場に生まれ、奇想の画家として独創的な作品を残すのみならず、錦市場の存続のために奔走するなど、京都のまちに深い関わりのある絵師・伊藤若冲の生誕300年を迎えることから、若冲の功績を顕彰し、その魅力を国内外へ発信するため、若冲ゆかりの美術館、寺院、商店街等と連携し、生誕300年を記念した多彩な取組を展開する。 【事業概要】 1 伊藤若冲生誕300年記念展覧会「若冲の真実」（仮）の開催 市井に生きる町衆の視点だからこそ作り上げることができた若冲の世界と京の町を主人公に、生誕300年を機に日本の持つ豊饒な文化力を再発見する展覧会を京都市美術館において開催する。 ※会期 平成28年10月4日～12月4日 2 シンポジウム・ワークショップの開催 京都市美術館の展覧会に合わせたシンポジウムをはじめ、商店街、美術館、寺院、学識者等若冲ゆかりの方々を講師に迎えた講演会や京都市内の小中学生を対象にしたワークショップを開催する。また、各種媒体を活用し、若冲生誕300年に関連した取組の広報を行う。 (参考) 平成28年1月14日に、若冲ゆかりの方々と若冲の功績を顕彰し、その魅力や各自の事業について語り合う「伊藤若冲生誕300年 若冲の魅力を語る懇話会」を開催した。また、「京あるき in 東京2016」において、若冲をテーマとした連続講座や記念講演を開催するなど、首都圏においても若冲の魅力を発信する。 【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 <伊藤若冲生誕300年記念関連のその他の政策的新規充実予算枠> 産業観光局：商業振興、伝統産業の販売促進・販路開拓に資する取組への支援			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	次期京都文化芸術都市創生計画の策定		
予 算 額	4, 500千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033)		
【事業実施に至る経過・背景など】 優れた京都の文化芸術を通じて、市民生活やまちづくりの取組を活性化するとともに、文化芸術と学術や産業との連携を図ることにより、京都を新たな魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生することを目指し、平成18年4月に京都文化芸術都市創生条例を施行した。 本条例に基づき、京都ならではの文化芸術によるまちづくりを進めるため、「京都文化芸術都市創生計画」を策定し、これまで様々な文化芸術の取組を推進してきた（計画期間：平成19年3月から10年間。平成24年3月に改定）。 本計画は平成29年3月をもって取組期間が終了することから、次の10年間を取組期間とする計画を策定する。 【事業概要】 次期計画では、国内の人口減少や、少子高齢化社会、東京一極集中等の課題を踏まえた今後10年間の計画を策定するため、京都文化芸術都市創生審議会に部会等を設置し、検討を進めていく。 なお、平成27年2月に策定した「京都文化芸術プログラム2020」については、次期計画へと包括・継承していく。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都市美術館再整備事業		
予 算 額	284, 800千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033) 美術館総務課（771－4107）		
【事業実施に至る経過・背景など】 京都市美術館は、昭和8年（1933年）に、京都の経済界はもとより、多くの市民の皆様の協力を得て開設され、平成25年に開館80周年を迎えたが、新しいニーズに応じた展覧会の開催や入館者サービスの向上などが強く求められているほか、建物・設備両面での老朽化をはじめ、展示環境における課題も指摘されており、ソフト・ハード両面からの検討が必要である。 こうした現状を踏まえ、平成26年3月には、求められる役割や目指すべき美術館像についてまとめた「京都市美術館将来構想」を策定し、平成27年3月には、<u>将来構想の内容を具体化する「京都市美術館再整備基本計画」を策定した。</u> <u>平成27年度は、埋蔵文化財発掘調査及び基本設計を実施している。</u>			
【事業概要】 <u>平成28年度は、実施設計を行うとともに、平成27年度に引き続き、埋蔵文化財の発掘調査等を実施する。</u>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都市動物園グランドオープン記念事業		
予 算 額	14,800千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	動物園総務課（771－0210）		
[事業実施に至る経過・背景など]			
平成21年度に策定した新「京都市動物園構想」に基づく再整備が27年度に完了したことに伴い、リニューアルした動物園を広く知っていただくため、年間を通して新施設（ゾーン）の活用を中心としたグランドオープン記念事業を実施する。			
[事業概要]			
1 グランドオープン記念 特典付年間パスポートの発行 実施予定時期：28年4月下旬～29年3月			
2 園内スタンプラリーの実施 完走者に特典の配付 実施予定時期：28年4月下旬～29年3月			
3 グランドオープン記念 雨の日プレゼント 雨の日に入園いただくことで、オリジナルカレンダー（3箇月）をプレゼント 実施予定時期：28年4月～29年3月			
4 動物人気投票の実施 実施予定時期：29年3月			
5 サマーコンサート、オータムコンサートの実施 夏・秋の夜間開園に合わせ開催 実施予定時期：28年8月、9月			
6 グランドオープン記念講演会 「ゾウ繁殖プロジェクト」をテーマにラオス政府関係者等の講演会を実施 実施予定時期：28年8月			
7 グランドオープン記念テレビ番組の放映 7年間の整備事業の記録や新施設の見どころ等をテレビ番組として制作・放映予定 実施予定時期：28年7月			
8 グランドオープン周知に係る広告媒体の活用 事業のPRに係り広告代理店を公募し、実施イベントの周知に係る広告や市バス・地下鉄への中吊り広告等を実施			
9 その他 各月、リニューアルした各ゾーンにおいて様々なイベントを実施			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	ゾウ繁殖プロジェクト		
予 算 額	5, 500千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	動物園総務課（ 7 7 1 － 0 2 1 0 ）		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成25年7月12日にラオス人民民主共和国天然資源・環境省森林資源管理局との間で締結した「京都市動物園におけるゾウの繁殖プロジェクト」に関する覚書に基づき、ラオス政府から寄贈を受けたゾウ4頭（オス1頭、メス3頭）の京都市動物園での繁殖が達成されるまでの間、同局及びラオス国立大学等のラオス政府関係機関の全面協力を得て、本プロジェクトを実施する。 なお、当該事業の財源としては、本プロジェクトへの支援として、平成26年6月17日に「京都市動物園サポーター制度」の提案型サポーターの第1号として京都信用金庫から申出のあった、総額1億円（平成36年度までの11年間）及び第2号として洛中ロータリークラブからの申出のあった総額250万円（平成31年度までの5年間）の寄付金を充てることとしている。			
【事業概要】 平成28年度は、ラオスとの人材交流を以下のとおり実施する。			
1 時期及び期間（滞在期間：約1週間を予定） ・ラオスから日本：平成28年6月～7月初旬 ・日本からラオス：平成29年1月～2月中旬			
2 内 容 【ラオス】ラオスから寄贈されたゾウの現状を視察し、プロジェクトの進ちょくについての会議を行い、ゾウの科学的な飼育管理方法及び繁殖関連技術に関する技術供与を受ける。また、京都大学での国際セミナーや動物園の講演会等において、ラオスのゾウに関する講演を行う。 【日 本】現地のゾウや生息環境について知るためにラオス国立大学と協力し、生息地であるサイニャブリ県での調査を行う。ラオス政府にプロジェクトの進ちょくに関する報告を行うとともに、ラオス国立大学でのセミナーにおいてプロジェクトに関する講演を行う。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など） 国内ではゾウの繁殖は進んでおらず、近い将来において動物園からゾウがいなくなってしまう可能性があり、本プロジェクトは、国内のアジアゾウ個体群の維持にとっても重要な意味を持っている。			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	世界考古学会議(WAC)第8回京都大会市民参加型講演会共催事業		
予 算 額	3,700千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(366－1498)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 世界最大規模の考古学の学会である世界考古学会議（WAC）第8回大会が、東アジアで初めて京都市で開催（開催期間：平成28年8月28日から9月2日まで）される。同会議が開催される機会を捉え、市民の皆様と歴史・文化・文化財保存に関する情報と認識の共有化を図ることを目的として、市民参加型講演会を世界考古学会議（WAC8）実行委員会と共催する。 〔事業概要〕 1 市民参加型講演会の実施（共催事業） 市民参加型講演会を世界考古学会議実行委員会と共催し、同志社大学において、遺跡保存や歴史都市遺産等をテーマとした公開講座を開催期間中に計3回実施する。 2 特設ブースの設置 会議の開場において、本市の調査成果の映像上映や、遺跡保護施策をまとめた啓発冊子を配布する特設ブースを設置する。 〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	鴨川・高瀬川地域の歴史遺産継承・活用事業		
予 算 額	3,800千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	歴史資料館（241－4011）		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 東山区の旧家に保存されてきた「今村家文書」は、京都駅周辺部を含む、鴨川・高瀬川沿岸や伏見街道周辺地域の歴史を知るうえで貴重な資料である。 その資料について、今村家文書研究会が調査、翻刻に取り組み、その成果が本年1月、科学研究費の出版助成を得て「今村家文書史料集」として刊行された。 史料集の編さんの最終段階で、同家に保管されていた古文書約3千点が新たに発見されたことから、未撮影や未掲載の文書も多数残されている。 「今村家文書史料集」は研究者向けの専門書であるが、今後も、資料の調査、研究を進めるとともに、広く一般の方に、地域の歴史や文化遺産について学ぶ機会をつくり、地域の活性化につなげる。 〔事業概要〕 未調査の史料も含め、「今村家文書」の調査、研究を進めるとともに、有識者、民間団体、行政が連携し、史料集をはじめとするこれまでの研究成果をより多くの市民の方々に知ってもらえるよう、連続講演会、展示などを開催する。 ・連続講演会 中世、近世、近代の各時代毎に、当地域の歴史や人々の生活に焦点を当てた講座を開催する。 ・特別展「鴨川・高瀬川地域の人と暮らし　ー今村家文書の世界ー」			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕 本事業は、文化庁の助成事業「文化遺産を活かした地域活性化事業」による国庫補助を活用して実施する。			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	府市協調で進めるスポーツ施設整備 横大路運動公園の再整備・防災機能強化		
予 算 額	56, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民スポーツ振興室(366－0168)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 広域的な大規模スポーツ施設整備の推進を図るため、横大路運動公園、西京極総合運動公園及び三川合流地域等におけるスポーツ施設整備については、府市協調により取組を進めていくこととしている。 横大路運動公園については、防災備蓄倉庫など災害時の広域防災拠点としての機能付加を含め、京都府下の運動公園として準広域・準基幹的な利用が図れるよう、硬式野球場や多目的グラウンド、園路・駐車場の整備など、公園施設の再整備を行う。 〔事業概要〕 平成２８年度は、府市協調による再整備を行うに当たり、公園の既存樹木や地下埋設廃棄物への影響が少なくなるよう、地質調査等を行い、整備内容や工法など計画の一部見直しを図る。			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	府市協調で進めるスポーツ施設整備 西京極総合運動公園の計画的改修		
予 算 額	132, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民スポーツ振興室(366－0168)		
[事業実施に至る経過・背景など] 広域的な大規模スポーツ施設整備の推進を図るため、横大路運動公園，西京極総合運動公園及び三川合流地域等におけるスポーツ施設整備については，府市協調により取組を進めていくこととしている。 西京極総合運動公園については，府内随一の広域・基幹的施設として，各種大規模大会にふさわしい機能・水準の維持，向上を図るため，陸上競技場兼球技場の大型映像装置（平成27年度整備中），管理諸室・トイレ，照明設備及び観覧席屋根の整備等を行う。			
[事業概要] ＜平成28年度の取組予定＞ <u>1 陸上競技場兼球技場の管理諸室・トイレ改修に係る実施設計</u> 大規模大会の開催会場にふさわしい施設として，管理諸室，放送室，更衣室・シャワー，トイレ等の充実を図るために，実施設計に取り組む。 <u>2 陸上競技場兼球技場の管理諸室・トイレ改修工事</u> 1で設計した管理諸室・トイレについて，改修工事に着手する。施設を供用しながらの工事であるため，複数年で順次整備をしていく予定である。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	市民スポーツ振興計画を推進する重点戦略 スポーツウェブ京都の整備		
予 算 額	1,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民スポーツ振興室(366－0168)		
【事業実施に至る経過・背景など】 「誰もが、いつでもどこでもスポーツに親しめるまちづくり」を総合的かつ計画的に推進するための指針として、平成23年度に「スポーツの絆が生きるまち推進プラン」京都市市民スポーツ振興計画を策定し、平成27年度には、計画の中間見直しを行った。見直し後の計画推進のため、重点戦略であるスポーツ情報網（スポーツウェブ）の整備に取り組む必要がある。 ※スポーツ情報… 室内でもできる手軽な運動，市内の身近なウォーキングコース，スポーツ施設に関わる情報，スポーツイベント・講座情報等 【事業概要】 市民の誰もがスポーツに親しむためには，スポーツに関する情報を容易に入手できることが大切であることから，誰もが利用できるスポーツ情報網（スポーツウェブ）の整備に取り組む。 スポーツ情報を集約し，内容を分かりやすく分類・整理したウェブサイトの新設する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	宝が池公園体育館(仮称)整備 (建設予定地にある埋設管の移設に係る調査・設計等)		
予 算 額	12, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民スポーツ振興室(366－0168)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都市には、国際競技のできるハンナリーズアリーナ（京都市体育館）のほか、武道センター、横大路運動公園体育館及び地域体育館18館、計21館の体育館があり、いずれも高い稼働率で、多くの市民の方々に御利用いただいている。 市民の身近なスポーツ活動の場となる体育館の利用環境を向上し、市民スポーツの更なる振興を図るため、宝が池公園スポーツ広場の南側にある本市遊休地を候補地として、新たな体育館整備に向けて取組を進めている。 平成27年度に体育館の実施設計を取りまとめ、今後は、整備工事までに必要な埋設管の移設を進めていく。 〔事業概要〕 平成28年度は、宝が池公園スポーツ広場の雨水排水状況と将来の排水計画について調査・検討したうえで、体育館の準備工事として必要な建設予定地部分の埋設管を移設する実施設計に取り組む。			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実				
予 算 額	289, 240千円	新規・継続の別	継続		
	（政策枠 11,000 千円 局枠 278,240 千円）	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠		
担 当 課	地域自治推進室 区政推進担当(222－3048)				
[事業実施に至る経過・背景など]					
地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区役所が先導し、柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく協働の仕組みづくりとして、「区民の提案（*1）」と「共に汗する共汗型（*2）」のまちづくりを支援する新たな予算システム「京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり『区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算』」を平成24年度に創設し、区民の自主的、自発的な活動を更に活性化させるため、本市のあらゆる施策のベースとなる「地域力」の強化を図る取組を推進している。					
*1 区民提案型支援事業 区基本計画に掲げる区のビジョンの実現に向けて区民が自発的、自主的に企画、運営する事業を募集し、審査会の選考により採択し、経費の一部を補助する「区民提案型支援事業」を各区において創設 *2 共汗型事業 区基本計画の実現や地域課題の解決に向けて、幅広い区民が参画する区民まちづくり会議における議論等を踏まえ、区民と各区役所が共汗して取り組む区民ぐるみの事業を「共汗型事業」として実施					
[事業概要] *各区における具体的な事業については、各区作成資料のとおり					
28年度は「区民提案型支援事業」について、制度創設時（56百万円）の2倍となる額（112百万円）まで予算を拡充し、地域力の強化をより一層推進する。					
また、最も市民の皆様に身近な区役所・支所が、配分予算やふるさと納税による自主財源を活用し、区民の皆様のニーズを踏まえた事業を実施する。					
更に、まちづくりカフェ事業を全行政区で実施する。					
○ 各区予算額（単位：千円）					
	配分額		配分額		配分額
北 区	19, 915	東山区	16, 290	右京区	31, 685
上京区	16, 265	山科区	48, 280	西京区	32, 380
左京区	24, 905	下京区	16, 375	伏見区	45, 415
中京区	18, 325	南 区	19, 405	合 計	289, 240
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]					

平成28年度 京都市予算案 事業概要

北区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	19, 915千円	新規・継続の別	継続
	〔政策枠 940 千円 局配分 18,975 千円〕	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	地域力推進室（432－1197）		
【事業実施に至る経過・背景など】			
北区制60周年記念事業を通して醸成された地域の自治意識や連帯感を、これからのまちづくりに活かしていくため、「つながる」を基調テーマとしたまちづくりに取り組んでいく。			
【事業概要】			
人口減少社会への対応や安心安全のまちづくりの推進, 地域コミュニティの担い手づくりなど, 今日的課題を踏まえ, 北区基本計画の後期5箇年のまちづくりの指針として策定した「北区民つながるプログラム（仮称）」の着実な推進を図る。			
【区民提案型支援事業 ㉗ 6, 925 千円→㉘ 7, 600 千円】			
○ 北区民まちづくり提案支援事業（充実） 7, 000千円			
上記プログラムに基づき, 平成28年度から重点的に取り組む地域コミュニティへの加入促進や北部山間交流支援等を特定部門として積極的に支援する。また, 「安心・安全のまち」につながる取組や大学との連携事業についても補助率を90%（㉗ 80%）に引き上げるなど, 「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを着実に推進していく。			
【共汗型事業 ㉗ 14, 200 千円→㉘ 12, 315 千円】			
○ 「北区民つながるプログラム（仮称）」応援プロジェクト（新規）1, 800千円			
同プログラムに記載されている18のプロジェクトを主体的に進める地域に対し, 民間のノウハウを持つ専門家を含めた相談体制を構築するなど, 積極的な支援を行う。			
○ 北区つながるワークショップ（充実） 1, 015千円			
区民の自主的なまちづくり活動の土壌を育てるだけでなく, ワークショップを機に新たな活動を始めるための, まちづくりの基本的なノウハウを学ぶ講座を開催する。			
○ 「ニコニコ北っ子 北区子どものまち（仮称）」の開催（新規） 800千円			
小学生を中心に, 企画段階から子どもが参加し, 考え, 作り, 働き, お客さんになり, まちづくりを学ぶ事業を実施する。			
○ コミュニティラジオを活用した新しい情報発信 1, 200千円			
平成28年3月に北区で開局予定の「コミュニティラジオ京都（仮称）」の年間を通じた放送枠を購入し, 時勢に応じた行政情報等を区民に幅広く発信するとともに, 災害時には, 区内のきめ細やかな避難情報や被害状況を発信する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

上京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	16, 265千円	新規・継続の別	継続
	〔政策枠 695 千円 局配分 15,570 千円〕	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	地域力推進室(441－5029)		
【事業実施に至る経過・背景など】 上京区では、上京区基本計画に掲げる「絆で織りなす 住みよいまち上京」に向けたまちづくりの推進のため、これまで地域の皆様とともに「上京区民まちづくり活動支援事業」、「上京区くらしの安心安全学区活動支援事業」の区民提案型支援事業、「避難所運営力アップ事業」、「上京の魅力発信事業」をはじめとした共汗型事業に取り組んできた。			
【事業概要】 平成28年度も従来からの事業を基本に取り組むとともに、新たに「自転車マナー向上三大作戦～安心安全おもいやりプロジェクト」, 「笑顔ですごせる健康づくりのまち上京」を実施する。			
【区民提案型支援事業 ⑦5, 130 千円→⑧5, 825 千円】			
○ 上京区民まちづくり活動支援事業（充実） 5, 575千円 地域コミュニティの振興と区民参加によるまちづくり活動を支援するため、支援団体同士の交流等から更に活動が広がるよう、新たに支援事業団体交流会等を実施する。			
【共汗型事業 ⑦11, 210 千円→⑧10, 440 千円】			
○ 自転車マナー向上三大作戦～安心安全おもいやりプロジェクト（新規） 200千円 大学や上京警察署、関係局と連携し、住む人、訪れる人ともに、安心して歩くことができるよう自転車交通マナーの向上を図る。 作戦その一「自転車運転マナー」の向上 その二「自転車盗」防犯対策の推進 その三「迷惑駐輪」対策の啓発及び検討			
○ 笑顔ですごせる健康づくりのまち上京（新規） 451千円 健康長寿のまちを目指し、お酒との上手な付き合い方を学ぶ講演会「上京健康長酒21～和食と日本酒～」やロコモティブシンドロームの予防について学ぶ健康教室「ロコモ予防で健康長寿」を実施する。			
○ 上京の魅力発信事業（充実） 227千円 従来からのまち歩きツアー等を実施するほか、上京の新たな魅力として、地元の方が掘り起こしている応仁の乱「東陣」に焦点を当てた取組を支援する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

左京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	24, 905千円	新規・継続の別	継続
	（政策枠 1,125 千円 局配分 23,780 千円）	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	地域力推進室(702－1021)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成27年度は、「左京区基本計画 左京はあとふるプラン」の中間点検を実施し、今後5年間に取り組むべき4つの重点方針（「北部地域への移住者や交流人口を増やす」、「“ほんまもん”を楽しむ文化を育てる」、「若者が活躍する仕組みをつくる」、「地域での顔の見える関係を築く」）を定めた。 平成28年度は、この後期重点方針に基づき区民の皆様との共汗の下、区基本計画の更なる推進を図る。			
【事業概要】 区民提案型支援事業については、「左京区まちづくり活動支援交付金」の予算額を増額し、新しい部門を設けて支援制度の充実を図る。共汗型事業については、北部地域振興や伝統文化の振興、健康長寿のまちづくりなどに関する新規事業に取り組む。			
【区民提案型支援事業 ⑦8,288千円→⑧9,413千円】			
○ 左京区まちづくり活動支援交付金（充実） 8, 413千円 「朝カフェグループ部門」を新設し、左京朝カフェから生まれたグループが次のステップへと進展できるよう、採択事業には上限10万円の補助を行う。また「重点分野部門」に「地域防災」と「まちの居場所づくり」の分野を追加し、防災対策を通じた地域コミュニティの強化や、幅広い区民が気軽に集える居場所づくりの活動などを新たに支援する。			
【共汗型事業 ⑩14,382千円→⑪15,492千円】			
○ 山林整美隊（仮称）～ボランティアの力で荒れた里山を再生（新規） 150千円 山林の手入れが充分に行われていない放置山林による災害の危険や、景観上の問題を解決するため、近年、環境意識やアウトドア志向の高まりにより増加している森林の維持管理を行うボランティアと、放置山林の所有者とのマッチングを行い、放置山林の整備を促進する。			
○ 「農」を活かした北部山間地域魅力創造プロジェクト 【産業観光局との共同提案事業】（新規）2, 600千円 左京区北部山間地域において、滞在型グリーン・ツーリズムの推進（農家民宿や体験農園の普及促進、地域資源を活用した6次産業化等）を地元（北部農林業地域振興協議会）と産業観光局、左京区役所が一体となり取り組む。			
○ 「京都 左京 あゆみとくらし（仮称）」の発刊（新規） 516千円 区民の皆様は左京の各地域の歴史について興味をもって学んでいただくため、平成24年度から市民しんぶん区版「左京ボイス」で連載してきた「左京の歴史と文化」（全22回）を1冊にまとめて発刊する。			
○ 左京健康なまちづくりプロジェクト（仮称）（新規） 380千円 区民参加によるプロジェクトチームを設置し、左京区の地域特性や資源を活かして区民の主体的な健康づくりの取組の輪が、広く運動として展開できるように、既存施策の融合や効果的な普及啓発について検討、実施する。			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

中京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	18, 325千円	新規・継続の別	継続
	（政策枠 780 千円） 局配分 17,545 千円	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	地域力推進室(812－2420)		
[事業実施に至る経緯・背景など]			
中京区基本計画の着実な推進のため、区民主体のまちづくり活動を支援する「中京区民まちづくり支援事業」や区民との協働で地域課題に取り組む「共汗型事業」を実施している。			
[事業概要]			
平成 28 年度は、区民提案型支援事業で募集枠を新設し、補助金を増額する。共汗型事業では、中京の資源を活用してアイデアを引き出す空間を演出する「中京フューチャーセンター（仮称）」を立ち上げるほか、防災、緑化、子育て支援等の事業を充実する。			
【区民提案型支援事業 ②5, 740 千円→②6, 520 千円】			
○ 中京区民まちづくり支援事業（充実） 5, 9 4 5千円			
「区基本計画（第 2 期）の目指す将来像」の実現のため、区民主体のまちづくり事業を公募し、支援する。平成 2 8 年度は、補助金を増額し、「中京マチビト Cafe」で生まれた活動の芽を育て支援する「マチビト応援枠」を新設する。			
【共汗型事業 ②11, 705 千円→②11, 805 千円】			
○ マチビト応援企画「中京フューチャーセンター（仮称）」（新規） 5 5 0千円			
中京区のまちづくりに関わる人（マチビト）の交流会「中京マチビト Cafe」参加者などのまちづくり活動に意欲的な方を対象に、専門家による相談や多様な関係者と未来志向で対話する場をすることで、新たな関係性の構築とアイデアの創出を図り、新たなアクションを生み出す。			
○ 「特別のことからあたりまえの防災へ」プロジェクト事業（新規） 1, 8 5 0千円			
マンション住民と子どもを対象に防災意識の向上を図る。			
〔マンション住民：ワークショップ等の開催やマンション防災マニュアルの作成。〕 〔子ども：防災を楽しく学ぶプログラム「イザ！カエルキャラバン！」の開催〕			
○ 京都みつばちガーデン推進プロジェクト事業 1, 0 0 0千円			
区役所屋上庭園でのニホンミツバチの飼育を通して、緑の大切さを啓発し、緑被率の低い都心部での緑化を推進する。身近に緑を育てる楽しさを発信する「京都みつばちガーデンフェア」や若い世代への緑化推進を図るためのキッチンガーデンなどを開催する。			
○ 中京ベビーズサポートマーケットプロジェクト事業 1, 9 0 0千円			
「子育てを楽しむまち 中京区」を目指し、乳幼児親子で楽しむ「ベビサポ広場」や子育て応援者とつながる「ベビサポフェスティバル」の開催、気軽な育児応援相談の試行などを実施する。			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

東山区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	16, 290千円	新規・継続の別	継続
	〔政策枠 840 千円 局配分 15,450 千円〕	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	地域力推進室(561－9105)		
【事業実施に至る経過・背景など】 「東山・まち・みらい計画2020」の着実な推進を図るため、「安心安全のまち東山」と「子育てしやすいまち東山」を区の方針の大きな柱としながら、東山の魅力の発信や向上に取り組む施策を推進する。			
【事業概要】 区民提案型事業については、これまでの成果を踏まえ、更に発展させる2つのプロジェクトを推進。 <u>東山区まちづくり支援事業助成金は、予算額を増額し、子育て・教育環境、防犯力・防災力の向上に加え、健康長寿のまちの実現に資する取組を重点的に支援する。</u> 共汗型事業については、2つの新規事業と1つの充実事業を含む8事業に取り組む。			
【区民提案型事業 ㊦ 6,170 千円 → ㊧ 7,010 千円】			
○ プロジェクト型事業		2, 200千円	
1 ユニバーサルツーリズムに関するプロジェクト 高齢者や障害者、外国人の観光客に関する多彩な講習会の実施等、地域や大学と連携し、ユニバーサルツーリズムの更なる推進を図る。			
2 手しごと職人に関するプロジェクト 職人データベースを継続・発展させ、職人のネットワークづくりや職人の魅力を広く発信する。			
○ 東山区まちづくり支援事業【充実】		4, 480千円	
東山区の課題の解決、魅力の向上又は活性化を図るための活動を支援する。 昨年度より多くの活動を支援できるよう助成金を増額する。 など			
【共汗型事業 ㊨ 7,650 千円 → ㊩ 9,280 千円】			
○ 東山から発信！京の無形文化遺産【新規】		400千円	
東山のもつ大きな魅力であり、京都の文化を担う重要な要素である「食文化」「花街」「地蔵盆」等について区内外に発信していく取組を実施。			
○ 区民参加型 魅力紹介！わたしの東山【新規】		1, 227千円	
東山で活躍する方々、伝統産業の職人さん、高校生等との協働による東山の隠れた魅力をテーマごとに紹介する動画を作成。			
○ つながる防災コミュニティの実現【充実】		1, 855千円	
防災活動の機動性をより強化するなど「安心安全のまち東山」の実現を目指す。 など			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

山科区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	48, 280千円	新規・継続の別	継続
	〔政策枠 1,185 千円〕 〔局配分 47,095 千円〕	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	地域力推進室(592－3065)		
【事業実施に至る経過・背景など】 「区民提案型支援事業（山科“きずな”支援事業）」については、24年度からの4年間で、136件、63団体を支援しているが、区民の手によるまちづくり活動を更に活発化するために、補助金の交付に加え、多面的な支援・協力を行う。また、「共汗型事業」については、区制40周年記念事業を中心に、引き続き地域課題の解決に向けた取組を行う。			
【事業概要】 【区民提案型支援事業 ㊴ 8,685 千円 → ㊵ 9,870 千円】 ○ 山科“きずな”支援事業（充実） 9, 545千円 これまでの4年間の成果を踏まえ、地域で活動する団体やグループ間の交流・連携の場となる交流会、成果報告会を開催すること等により、まちづくり活動の広がりや活発化を目指す。			
【共汗型事業 ㊴ 10,880 千円 → ㊵ 38,410 千円】 ○ 山科区制40周年記念事業（新規） 27, 000千円 山科区は平成28年10月に東山区から分区して40年を迎える。 区制誕生40年を、区民や地元企業、通勤・通学される方とともに祝い、次の50周年に繋がるような事業を展開する。 具体的には、区内を四季折々の花でいっぱいにする取組や、子どもたちに山科の歴史や文化への理解と愛着を深めてもらう取組、芸術に気軽に触れていただく取組、山科ならではの食を楽しむ企画など、区内外から多くの方に参加していただける事業を実施する。			
○ 山科区健康寿命延伸プロジェクト（新規） 865千円 健康寿命延伸のため、清水焼団地協同組合の協力の下、認知症予防に効果的な清水焼の制作体験、完成した器を使用する料理教室等を開催する。 また、区内新聞販売店と協定を結び、新聞配達による高齢者の見守りネットワークを構築する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

下京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	16, 375千円	新規・継続の別	継続
	〔政策枠 985 千円 局配分 15,390 千円〕	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	地域力推進室（371－7163）		
【事業実施に至る経過・背景など】			
平成27年国勢調査の速報値によると、下京区は市内で最も高い人口増加率を示している。そのような中、制度創設から4年が経過した「区民が主役のまちづくりサポート事業」においては、これまでに128件に及ぶ申請があり、転入者による区の魅力を発信する取組をはじめ、区民の手による様々な取組が展開されるなど、まちづくり活動が地域に広がりを見せ、下京区の魅力を一層高めている。また、今後ますます少子高齢化の進展が見込まれる中、健康寿命の延伸を図り、誰もがいきいきと地域社会で活躍できるまちを実現することの重要性も高まっている。			
【事業概要】			
年々高まりを見せている地域のまちづくりの機運に應えるとともに、年齢を重ねても、ひとりひとりのいのちが輝き、地域の支え手として活躍できる「健康長寿のまち」を実現するため、「区民提案型支援事業」については、 <u>「区民が主役のまちづくりサポート事業」の予算を増額するとともに、新たに「健康長寿のまち」の推進という視点を審査に取り入れる。</u>			
また、「共汗型事業」においても健康づくりを推進する関係機関の更なる連携強化や健康づくりに関する情報発信などに取り組み、「健康長寿のまち」を推進し、区民ひとりひとりが「自分ごと」として健康への意識を高め、主体的に「健康づくり」に取り組めるよう働きかけていく。さらに、 <u>「まちカフェ事業」を充実し、様々な「まちづくり人」の出会い・繋がりの中から、区内でのまちづくり活動を一層盛り上げ、より住みやすく魅力的なまちづくりを進めていく。</u>			
【区民提案型支援事業 ⑦8,265千円 → ⑧8,765千円（安心安全ネット継続応援事業600千円を含む）】			
○ 下京区区民が主役のまちづくりサポート事業（充実） 8, 165千円			
「よりよいまちを自分たちの手で!」という自由な発想と熱意あふれる提案による自発的、主体的なまちづくり活動を支援する。（補助年数：最長4年）			
【共汗型事業 ⑦8,085千円 → ⑧7,610千円】			
○ 健康長寿のまち・下京の推進（充実） 885千円			
健康寿命の延伸に向けて、 <u>区内で健康づくりの推進に取り組む関係機関（社会福祉協議会や地域包括支援センター等）の更なる連携や健康づくりに関する情報発信等を行う。</u>			
○ まちカフェ事業（充実） 600千円			
下京・町衆倶楽部のメンバーによるまちづくり活動に加え、平成28年度は若い世代を対象とした新たな活動の場を設けるとともに、現在、 <u>地域に点在している自主的なサークル・団体とも横の広がり</u> が生まれるよう取組を展開していく。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

南区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	19,405 千円	新規・継続の別	継続
	（政策枠 590 千円 局配分 18,815 千円）	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実枠・局配分枠
担 当 課	南区役所地域力推進室(681－3111)		
【事業実施に至る経過・背景など】 南区では、区民提案型支援事業「みなみ力で頑張る！区民応援事業」として、24年度から、地域力（みなみ力）、福祉、安心安全、文化等の分野でまちづくりを推進する区民等の提案事業を支援している。 また、共汗型事業として、24年度から「地域防災力強化『避難所体験型研修』」を自治連合会・自主防災会等住民と協働で、23年度から「南区企業の“知”活用推進事業」を企業と連携して実施している。			
【事業概要】 「だいすき！京都寄付金」を活用する等「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」を増額し、区民主体のまちづくり活動支援や、『南区観光「蘇るAR西寺」』、『南区民ふれあいカフェ』及び健康長寿推進事業を新たに実施する。			
【区民提案型支援事業 ⑦4,350千円→⑧4,940千円】			
○ <u>みなみ力で頑張る！区民応援事業（充実）</u> 4,940千円 各種団体、NPO等が、地域力（みなみ力）、福祉、安心安全、健康、文化等の分野において取り組むまちづくり活動や、自治会主体の安心・安全に関する取組を支援する。			
【共汗型事業 ⑦14,220千円→⑧14,465千円】			
○ <u>南区観光「蘇るAR西寺」（新規）</u> 2,000千円 平安京の復元第2弾として、コンピュータグラフィックで「西寺」を復元し、スマートフォンなどの携帯端末の画面で見ることができるシステムを制作する。			
○ <u>健康長寿推進事業（新規）</u> 900千円 健康長寿のまち南区の実現を目指し、区民主体の取組を支援するとともに、特に若い世代の健康への意識向上を図る（健康長寿のまち南区散策ウォーキング、乳がん予防啓発事業、親子で安心青年期健診、健康づくりグループ活動支援事業）。			
○ <u>南区民ふれあいカフェ（新規）</u> 100千円 南区のまちづくりや地域課題の解決に向けた意見交換会やワークショップを実施する。			
○ <u>地域防災力強化「避難所体験型研修」事業</u> 2,000千円 避難所の開設・運営の体験型研修や防災啓発を地域と連携して実施する。			
○ <u>南区企業の“知”活用促進事業</u> 150千円 ものづくりのまち・南区の特性を活かし、独自の“知の財産”で世界を舞台に活躍する区内企業を紹介する講座や見学会を通じて、企業と区民の交流を促進する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

右京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援予算事業」の更なる充実		
予 算 額	31,685千円	新規・継続の別	継続
	（政策枠 1,360 千円 局配分 30,325 千円）	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	地域力推進室(861－1784)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成28年度は、「京都市右京区基本計画 2020～右京かがやきプラン～」で掲げる未来像の具体化に向けた後半期のスタートの年である。			
【事業概要】 平成28年度「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」は、右京区まちづくり支援制度のなお一層の充実を図るとともに、共汗型事業については、区民との協働の関係を更に深化させた19項目の事業に取り組む。			
【区民提案型支援事業 ⑦10,000 千円 → ⑧11,000 千円】			
○ 右京区まちづくり支援制度 11,000 千円 区民、地域団体、NPO法人、大学等が自発的、主体的に行うまちづくり活動・事業を公募し、選考・審査を経て、補助金を交付することにより、区民等との共汗・協働によるまちづくりを推進する。年度途中に企画されるまちづくり活動を支援するため、年2回実施するとともに、採択後もヒアリングや現場視察などのきめ細やかな支援を継続する。			
【共汗型事業 ⑩20,200 千円 → ⑪20,685 千円】			
「まち・ひと・しごと・こころ京都創生 右京モデル」関連ほか			
○ こころのふるさと右京創生（新規） 2,300 千円 北部山間地域や右京区中心部も含めて、各地域の強みを活かしながら、定住促進、交流人口増加、観光振興など相互に連携を図り、相乗効果を生み出せる取組を推進する。			
○ まち価値・魅力向上大作戦（新規） 800 千円 まちなかでモデル学区を選定し、学区内の現状や課題を共有したうえで、空き家対策や自治会加入率の向上など地域の課題解決に結び付ける。			
○ 健康長寿のまち右京推進（新規） 2,100 千円 誰もが健康で生きがいを実感できる活力ある地域社会を実現するため、幼少期から高齢期までの全てのライフステージでの健康づくりを区民ぐるみで進める。			
○ チャレンジキッズ in 右京（新規） 1,000 千円 子供たちにチャレンジ精神や創造性を培う起業家教育を実践するため、子供たちが仕事体験を通じて、働くことの理解や社会の仕組みを学べる取組を実施する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所・洛西支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	32, 380千円	新規・継続の別	継続
	〔政策枠 1,025 千円 局配分 31,355 千円〕	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	西京区役所地域力推進室(381-7157) 洛西支所地域力推進室(332-9185)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成24年度から、西京区基本計画で掲げたまちづくりを実現するため、区民主体のまちづくり活動を支援する「区民提案型事業」と区民との協働でまちづくりの活性化や地域課題を解決する「共汗型事業」を実施している。			
【事業概要】 区民提案型事業の「西京区地域力サポート事業」については、子育て支援や健康長寿など地域の活性化に取り組む活動を積極的に支援する。共汗型事業については、西京区制40周年記念事業の実施や子育て支援、地域防災力向上、洛西地域の活性化に向けた取組等を実施し、地域力を活かした西京区の更なる活性化を進めるとともに、広く西京区の魅力を発信する。			
【区民提案型支援事業 27年度:7,565千円→28年度:8,590千円】			
○ 西京区地域力サポート事業 ほか(継続) 8, 590千円 地域コミュニティの活性化や安心安全なまちづくりを実現するためにサポート事業等の補助金額を増額するとともに、活動団体に対して、広報や仲間集めに関する講座を実施し、活動を支援する。また、本事業をより多くの区民に知ってもらうため、効果的な広報を検討し、幅広く周知していく。			
【共汗型事業 27年度:18,605千円→28年度:23,790千円】計20事業			
○ 西京区制40周年事業(新規) 4, 000千円 各自治連合会や各種団体を中心に立ち上げた西京区制40周年記念事業実行委員会を核として、西京区の50年・100年先の未来へとつながる地域一体となった事業（記念事業、記念式典、祝賀会の実施及び記念誌の発行等）を実施する。			
○ 地域で育児！“パパ塾”（充実） 750千円 未就学児の子どもとパパと一緒に遊ぶ・学ぶイベントを実施し、パパ同士の交流の場も設ける。また、西京区在住のパパを主体とした「西京☆パパ盛り上げ隊」によるイベントやパパと子どもの居場所「西京☆パパサロン（仮称）」を開設する。			
○ 洛西夜の賑わい創出プロジェクト(新規) 1, 500千円 若い世代・子育て世代を対象に、「らくさいマルシェ」をはじめとする洛西地域の既存事業と連携を図り、洛西の夜の賑わいを楽しむイベントを催して地域の魅力を発信し、移住・定住につなげる。			
○ 洛西魅力発信プロジェクト(新規) 400千円 にそと（京都第二外環状道路）沿線なども視野に入れ、京阪神地域に向けて、洛西地域の魅力を発信することにより、洛西地域外の若い世代、子育て世代の洛西への移住を促進する。			
○ たけっこぐんぐんプロジェクトによる子育て支援事業（新規） 450千円 地域の子育て応援者等で構成するたけっこぐんぐんプロジェクト委員会により、「らくさい子育て情報マップ」を用いた、「親子でスタンプラリー（仮称）」、「親子でお散歩（仮称）」を実施し、顔の見える地域コミュニティの構築を図る。			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所・深草支所・醍醐支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	45, 415千円	新規・継続の別	継続
	（政策枠 1,475 千円 局配分 43,940 千円）	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的充実予算枠・局配分枠
担 当 課	伏見区役所地域力推進室(611－1295) 深草支所地域力推進室(642－3125) 醍醐支所地域力推進室(571－6105)		
【事業実施に至る経過・背景など】 伏見区では、平成24年度に創設した当予算を活用し、伏見区基本計画に掲げる伏見区の将来像の実現に向けた区民主体の取組を支援している。			
【事業概要】 平成28年度は、 <u>新たに伏見南部の観光振興や健康長寿に関する事業に取り組むとともに、これまでの成果と課題を踏まえ、区民主体のまちづくり活動を支援する「伏見区区民活動支援事業」等を更に充実させる。</u>			
○ 伏見南部の観光振興 （新規） 600 千円 伏見南部地域（旧伏見市）まで観光客を呼び込むため、関係団体などが協働し、観光客に日本酒や風情ある街並みなどの観光スポットの魅力を発信する。また、地元の活性化につながる観光モビリティマネジメントの取組も実施する。			
○ 健康長寿のまち・深草（新規） 1,900 千円 住民の皆様の健康づくり活動を促進するため、地域や大学等と連携し、ラジオ体操や気軽に参加できる地域活動などの情報を盛り込んだ健康マップを作成・各戸配布するほか、深草の魅力的な景観である疏水沿いに、ベンチの設置や花植えを行うなど、「深草のプロムナード（散歩道）」として一層歩きたくなる環境づくりを進める。			
○ 健康長寿のまち・醍醐（新規） 600 千円 健康づくりサポーター、京都橘大学地域連携センター、おとなだいき塾参加者、地域住民、学生ボランティア等との協働により、ライフステージ(幼少期、青少年期、高齢期等)や分野(食生活、運動等)に応じた健康づくりを推進するイベントや広報普及活動の実施など、「健康長寿のまち・醍醐」の実現に向けた取組を推進する。			
○ 伏見区区民活動支援事業 （充実） 11,020 千円 伏見区基本計画に掲げる区の将来像の実現を目指し、区民自らが提案し、自ら取り組むまちづくり活動を公募し、財政的支援を行う。			
○ 融合プロジェクト推進事業 （充実） 6,980 千円 伏見区基本計画に掲げる融合プロジェクトの推進を図るため、区民自らが「知り」「行動し」「つながる」場を作り、区民発案の活動の実現を支援する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			